



平成 26 年 4 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 26 年 3 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 26 年 3 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	49	27.2%	484.7%	△64.5%
半導体分野	70	38.8%	△2.6%	91.7%
その他分野	61	33.9%	△67.7%	—
合計	181	100.0%	△33.2%	2.4%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H25.4月	5月	6月	7月	8月	9月
F P D分野	91	51	49	56	48	52
半導体分野	46	47	46	45	53	53
その他	0	2	0	0	0	4
合計	138	101	96	102	101	109

区分	10月	11月	12月	H26.1月	2月	3月
F P D分野	72	68	62	39	8	49
半導体分野	59	64	63	67	72	70
その他	29	64	121	219	191	61
合計	161	197	248	325	272	181

3. 月次受注残高の概況

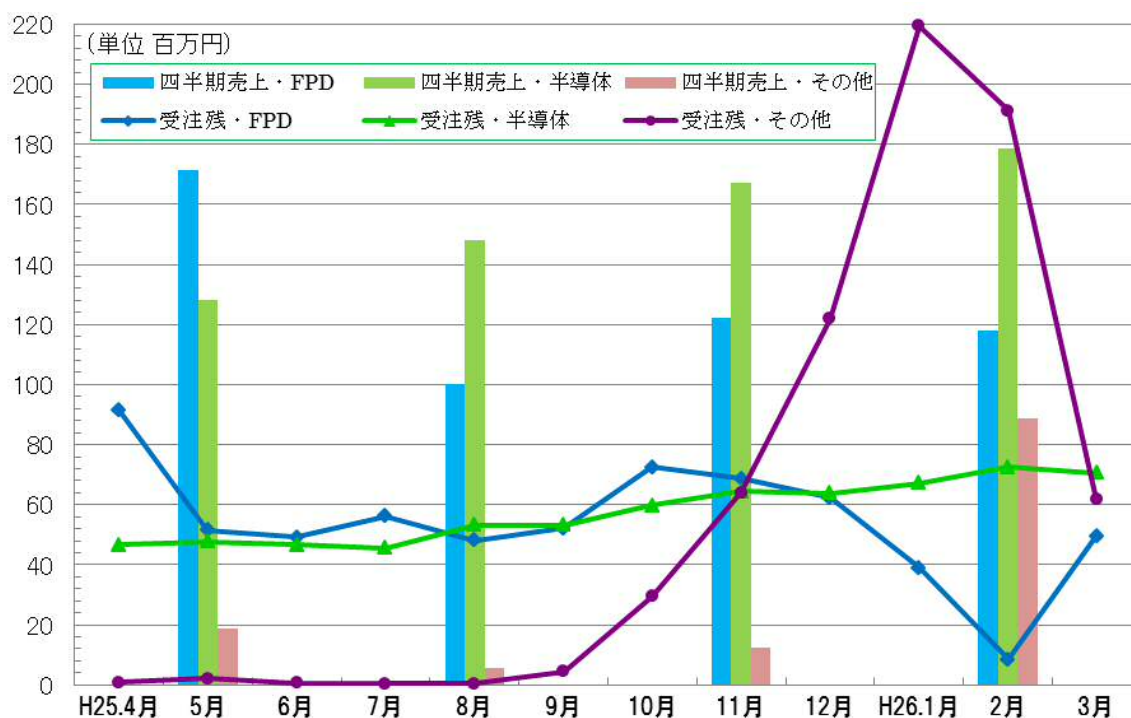
平成 26 年 3 月度末の受注残高は、FPD 分野においては、受注が大幅に回復したことから、対前月増減率で 484.7%増、対前年同月増減率では 64.5%減の 49 百万円となりました。半導体分野においては、受注および出荷検収ともに好調を維持し、対前月増減率で 2.6%減、対前年同月増減率では 91.7%増の 70 百万円となりました。一方、その他分野においては、光学分野の出荷検収が本格化したことから、対前月増減率で 67.7%減、対前年同月比は大幅増加の 61 百万円となりました。これらの結果、平成 26 年 3 月度末の受注残高は、対前月増減率 33.2%減、対前年同月増減率 2.4%増の 181 百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、FPD 分野では、改善傾向が出始めるも小幅な改善にとどまる見通しです。また、半導体分野では、市場環境は踊り場の状況ながらも受注品種の増加傾向が継続していることから、受注高および売上高の増加は継続する見込みです。その他分野においては、今後は出荷検収に伴い受注残高は減少しながらも、一定の受注は継続する見通しを持っております。

全般的には、消費税の駆け込み需要による需要増は鎮静化しながらも、概ね好調な市場環境が続くと想定しております。このような環境の中で、協力企業との取引拡大を行うなど、生産能力の拡大を進め、更に受注拡大を目指します。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。